

1年生 部落問題学習（その2）

11月11日（月）

2時間目は、石川さんが自供に至るまでの経緯について考えていきました。石川さんは世の中のことをあまり知らずに育ってきました。世の中のことを知らなかったのは学校にあまり行けてなかったから。学校に行けてなかったのは、家が貧しかったから。家が貧しかったのは、父親が日雇いで賃金の少ない仕事にしか就けなかったから。そのような仕事にしか就けなかったのは「部落」に住んでいたから。こういった「部落差別の実態」を構造的に学んでいきました。石川さんが警察からどのような取り調べを受けてきたのかを学びました。石川さんは警察の言葉を信じてしまった」という事実に対し「ありえへんやろ」「何で信じたん？」と驚きや疑問の声が上がっていました。教員による劇を通して取り調べを受けているときの石川さんの気持ちや、死刑判決を言い渡された時の石川さんの気持ちなどを、「自分ならどう感じるだろう」と想像しながら話を聞いていました。「それぞれが考えた石川さんの気持ちや、どうしてそう考えたのかを、話し合い、共有することができました。

第1時で狭山事件に興味を持ったRやKが「おれYoutubeで調べてきたで！」「こんなことあったんやんな！」と狭山事件について興味を持ち、家で調べてきたことを話していました。

今回は、石川さんにとっての学ぶ意味について考えていく授業を展開していきます。

（文責：新子）

